

子育て情報紙 **2019**
ひだまり通信No.90 **9月**
 香北町社会福祉協議会
 香北町子育て支援センター
 熊本県天草郡香北町志岐32番地3
 TEL (0969) 35-1270
 町内無料電話35-1270
 FAX(0969)35-1270

クッキング
 ・そうめん
 ・かぼちゃサラダ・なすの煮びたし
 ・そうめん南瓜の酢の物



えほんしょうかい
 しぐまちゃんのおとけき
 わかやまけんノ作
 福音館書店
 864円(税込み)

ホットケーキが、焼きあがる場面には、みんながくぎ付け！おいしいにおいがきそうな、なんとも幸せな気持ちになります。

開設日 月～金の毎日(祝日を除く) **対象** 子育て中の保護者と子ども
 子育て中のママのみ
 マタニティママ

開設時間 午前9時30分～午後3時 **利用料** 町内 100円
 町外 200円

場所 香北町新ふれあい館

* お悩みやご相談があるときは、お気軽に電話もしくはご来館ください



5月末に花壇に植えたマリーゴールド・ヒマワリが、きれいに咲いています。とてもきれいです。



9月の行事予定

10日(火) クッキング 10:15～

20日(金) 7・8・9月生まれのお誕生会 10:30～

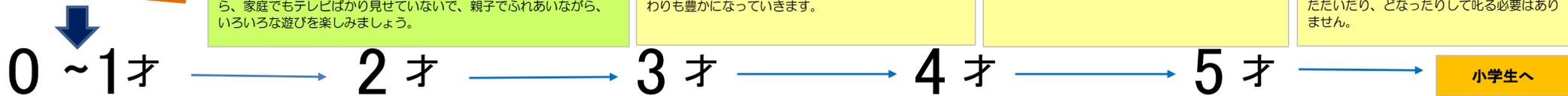
育児情報

ナイスショット

お友だちづきあいは社会とかかわる第一歩
ママができること・すべきこと
 お友だち関係のスタート地点に立とうとするこの時期に、ママが注意してあげたいこと



こんなふうに発達します
子どもの社会性



家庭では自分らしさを存分に発揮させて！
 年少さんのクラスの様子を見みると、3才はまだ人間関係の最初のステップにいることがわかります。2才ならなおのこと、まだまだ入門編。この時期におきたいことは、「家庭の中で安心して自分らしさを発揮できる環境をつくってあげること」だと、思います。家庭は、子どもに自信を持たせる場所です。自分の気持ちを伝えられる、自分の気持ちがわかってもらえる……その自信が、お友だちづくりの自信へとつながります。子どもは、遊びを通してお友だちとのかかわりを深めていきますから、家庭でもテレビばかり見せていないで、親子でふれあいながら、いろいろな遊びを楽しみましょう。

着替えや身支度が「できる！」という自信がつけば外でもがんばれる
 一見無関係に見える、生活力とお友だち関係ですが、実は「自分で着替えができる」「準備ができる」という自信が集団生活での自信へと結びついていくのです。2～3才で「全部自分で」はむずかしいので部分的にやらせ、ほめて自信をつけさせることが大切です。「これは自分でやってみようか。そうそう、じゃうずいできたね」とほめてあげてください。生活力のある子は積極的に行動することによって、文字や数の理解、人とのかわりも豊かになっていきます。

遊びにつきあうのがつらければ家事をいっしょに
 家庭では、夢中になれる遊びにとことん取り組ませてあげてください。大人が加わることで遊びの幅はグンと広がりますから、可能な範囲でつきあってほしいのですが、「もう1回」「もう1回」としつこくなるとママもつらくなります。つきあう余裕がないときは、「生活をともにする」と気持ちを切り替えて、洗濯、掃除、料理などをママといっしょにやることも子どもには「遊び」のひとつです。

危険いことをしたら言葉ではなく体でストップ
 公園などでの戸外遊びが始まると、興奮して危険なことをしたり、おもちゃの取り合いでトラブルが起きたりすることがあります。自分や人を傷つけるような行動は、「やめなさい！」と口で言うのではなく、大人が体で抱き止めてストップさせましょう。その場ですぐに止めて「ああ、危なかった。いまのは痛いよ」と真剣な顔で伝えと、「いけないかったのだ」と伝えます。たいたいたり、どなったりして叱る必要はありません。

親しい人との愛着関係からスタート
 ママやパパ、保育士さんなど、日常的にお世話している人との愛着関係を築くことが、社会性を身につける第一歩です。この時期、「お友だちと遊ぶ」のはまだむずかしく、集団でもそれぞれが興味のあることをしています。

同年代の子どもに興味を持ち始める
 1才の半ばごろから同世代のお友だちが気になるようになり、2才になるとかかわりが増えてきます。言葉の発達も感情コントロールも未熟なので、物や場所の取り合いなどでトラブルが起きやすい時期でもあります。

集団の中でも安心して自分を出せる
 言葉の理解が急速に進むので、社会性が豊かになってきます。気の合うお友だちもでき始めますが、まだ、一人遊びのほうが好きな子や、じゃうずに仲間に入れない子もいます。個性に合わせた遊びが展開する時期です。

2～3人の仲間で遊びが発展する
 「一人よりも友だちと遊ぶほうが楽しい」と思うようになり、2～3人遊びが盛んになります。仲間に入るのが得意な子もそうでない子もいますが、それぞれに遊びを通して少しずつ友だちとのかかわりを増やしていきます。

同じイメージを持って集団遊びができる
 同じイメージを共有してチーム遊びができるようになる時期です。集団での遊びが楽しくなり、内容も高度になってきます。友だちの個性も理解でき、「あの子はよく泣くけどアイデアが豊富」など認め合う力もつきます。